

第4章 計画の推進に向けて

第1節 施策展開の具体化と推進方策

本計画は、今後実施すべき交通施策の基本方針を示したものです。各施策の実施に向け、個別計画に基づき、着実に推進する必要があります。

また、厳しい財政状況の中では、様々な観点から施策の重要性を検討のうえ、効果の高いものから優先的に実施し、選択と集中により効率的に施策を展開することが重要です。

1.1 施策展開の具体化と個別計画への反映

施策を具体化し実現性や実効性を高めるため、交通施策の基本方針を踏まえ、(仮称)調布市地域公共交通計画や自転車活用推進計画等のより詳細な個別計画を新たに策定します。

個別計画の策定に当たっては、基本交通施策や実施施策ごとに関係機関や専門家、地域の住民等と連携しながら、地域課題の解決に向けた有効な手法について検討します。

また、計画目標の達成に向けて効果的・効率的な事業計画とするため、限られた財源の重点的かつ効果的な投資、建設コストの削減、既存ストックの活用など、市の財政運営にも配慮します。

1.2 推進方策

交通施策の実施には、都市基盤整備をはじめ、多額の経費を必要とする事業もあるため、効果的・効率的な事業の実施やソフト施策との連携を図りながら、まちづくりや市民生活などの様々な観点から効果が得られるよう、計画を推進することが必要です。

現在事業中又は個別計画に定められている交通施策については、着実な推進に向けて予算化や関係機関との協議・調整を進めます。それ以外の各施策についても市の財政運営などに配慮しつつ、個別計画の策定などを含め調布市基本計画とも整合を図り、交通施策を推進します。

また、広域道路や公共交通などの交通施策については広域的な視点に立って施策展開していくことが重要で、東京都や周辺市区との連携強化を図ります。

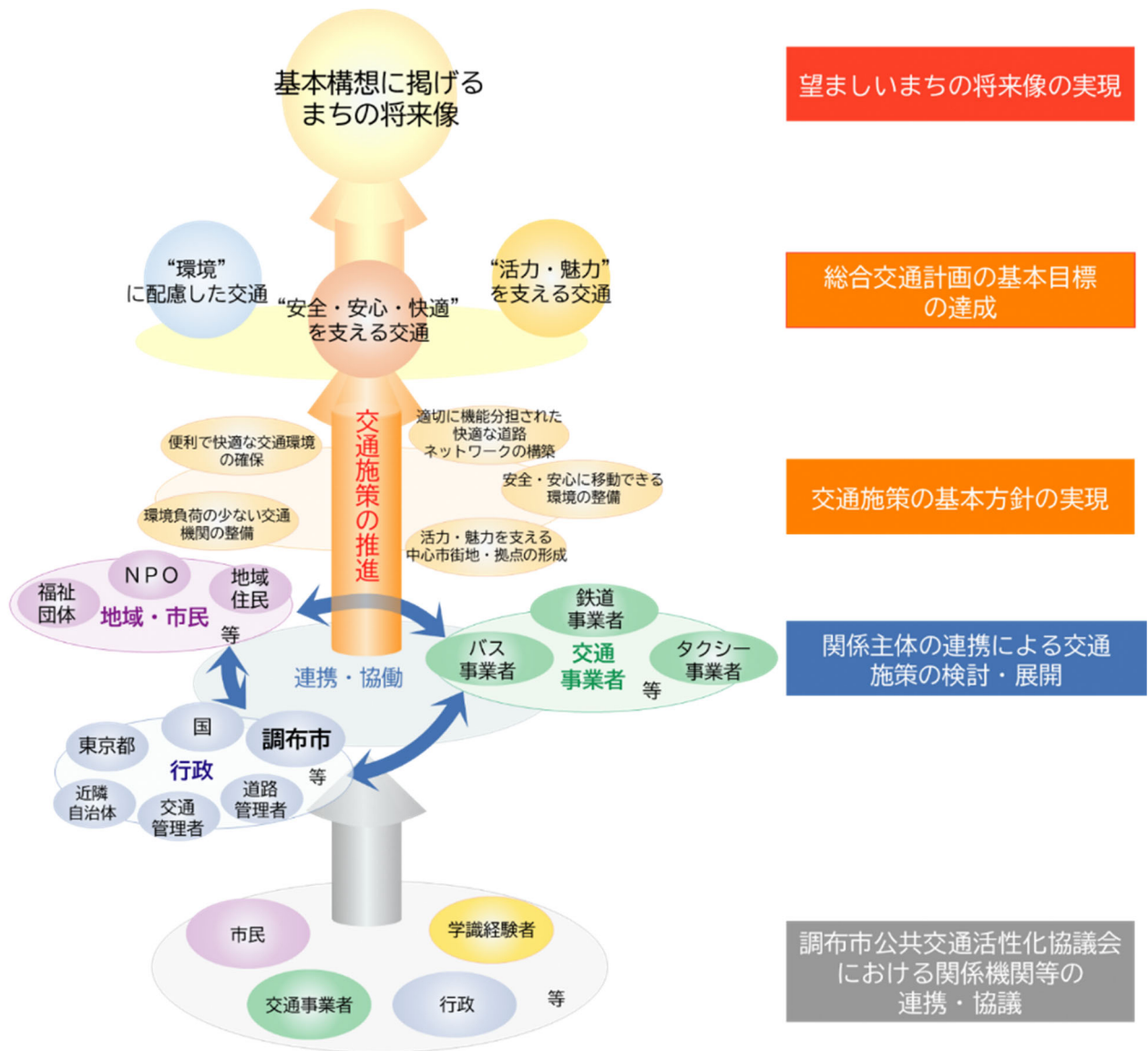


図 交通施策の推進フロー

第2節 計画の進行管理

本計画で提案した施策の実施に当たっては、定期的に施策の進捗状況、導入効果、目標達成度などを確認します。

また、調布市公共交通活性化協議会において、それらの進捗状況や検討状況を確認し、市のホームページ等を通じて公表することにより、透明性や公平性を確保しつつ進めていきます。

2.1 計画の評価・検証

本計画の評価・検証に当たり、関連計画の変更や社会情勢の変化等を適時・適切に捉えることも重要です。計画の策定（Plan）、個別計画等による実行（Do）、収集した成果指標による評価（Check）、評価を基に時代にふさわしいプランとなるよう改善（Action）を行うPDCAサイクルにより、時代に適した方法で計画を推進していきます。



図 PDCAサイクルのイメージ

2.2 計画の推進に向けた協働体制の確立と市民参加

本計画の着実な実施に当たっては、行政・市民・関係機関などの連携のための協働体制を整え、関連主体・組織間、各制度・政策間の整合を図りつつ円滑な実現を図ることが必要です。

特に、交通施策に直接関連する交通事業者や関係機関とのコミュニケーションの場を積極的に設け、施策の実現に向けた個別計画策定時の参画など、協働して推進する体制を構築します。

このため、行政、交通事業者、市民・企業の役割分担・連携のあり方を明確にするとともに、関係者で構成される調布市公共交通活性化協議会やその作業部会において、本計画の進捗状況を確認します。

交通施策の検討や実施の際は、自治会・市民活動団体や民間企業等を含めた市民の理解、参加、協力が不可欠です。交通施策の検討状況や計画の進捗状況などの情報を公開し、様々な意見を収集しながら、計画を推進していきます。

また、交通施策の実施段階においては、広く市民に周知しながら、市民の協力や自発的な取組の促進・支援を図ります。

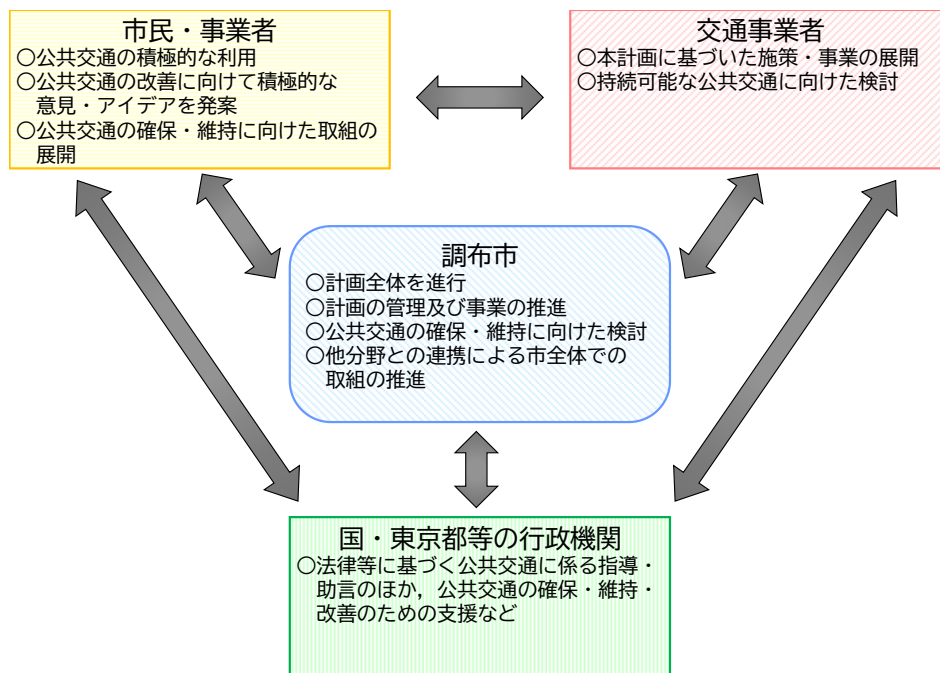


図 本計画の関係者の役割分担

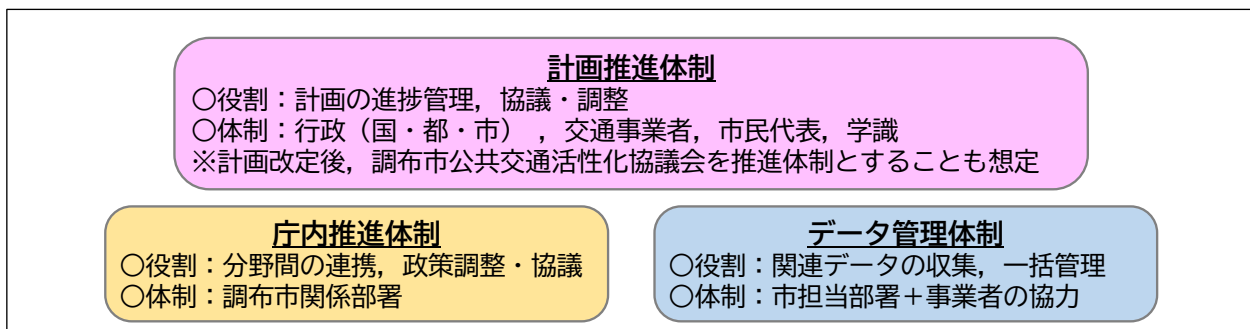


図 進捗管理に関する体制のイメージ